

第=世

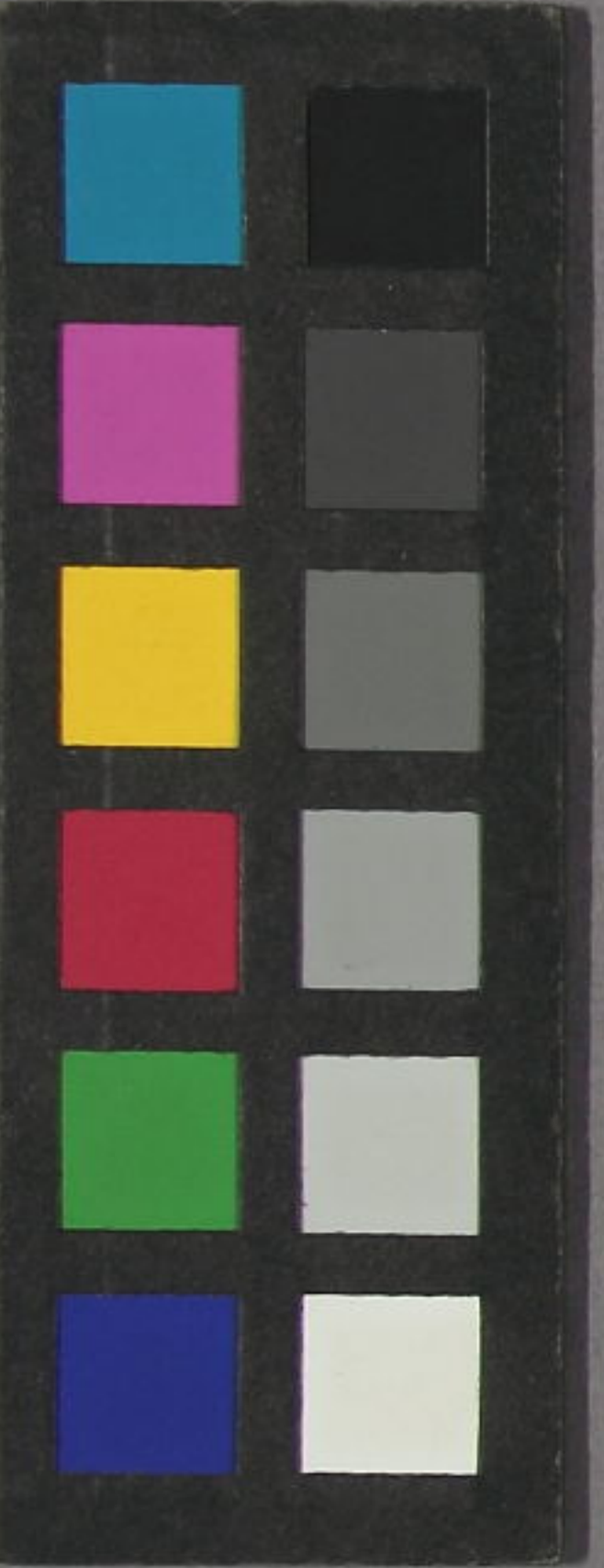
Rhetoric.

特別

14

2236

25



特 14
2236
25

義理學

義理學ハ文章ノ字也

古ノノ尊也



文章ハ成思也人ニ信セシムル也

如何也

~~義理學ノ用ハ成思也人ニ信セシムル也~~

信セシムルニハ成思ノ人外無クナリ

信セシムルハ其心ニ對シテ誠ノ心也

成思ノ味ハ真理トナリ
其對人ノ誠ニシテ其
道具ニシテ義理ノ一也

~~又成思ノ味ハ義理ノ一也~~

~~其對人ノ誠ニシテ其~~
義理ノ一也
其對人ノ誠ニシテ其
義理ノ一也

成思ノ知識的ニ成思也
其對人ノ誠ニシテ其
義理ノ一也

初四版

①信=内容的、外形の上で

②人言、感、意=知、情、意、三、面、上、
[意、情、意、の、三、者、の、一、面、の、信、は、
上、の、双、面、也]

②者、上、に、~~信~~、~~情~~、~~意~~、~~の~~、~~三~~、~~者~~、~~の~~、~~一~~、~~面~~、~~の~~、~~信~~、~~は~~、~~上~~、~~の~~、~~双~~、~~面~~、~~也~~

③情、上、に、~~信~~、~~情~~、~~意~~、~~の~~、~~三~~、~~者~~、~~の~~、~~一~~、~~面~~、~~の~~、~~信~~、~~は~~、~~上~~、~~の~~、~~双~~、~~面~~、~~也~~

④要、上、に、~~信~~、~~情~~、~~意~~、~~の~~、~~三~~、~~者~~、~~の~~、~~一~~、~~面~~、~~の~~、~~信~~、~~は~~、~~上~~、~~の~~、~~双~~、~~面~~、~~也~~

初四版

① 人間、感、意 = 知、情、意、三、面、上、
(其、中、に、~~信~~、~~情~~、~~意~~、~~の~~、~~三~~、~~者~~、~~の~~、~~一~~、~~面~~、~~の~~、~~信~~、~~は~~、~~上~~、~~の~~、~~双~~、~~面~~、~~也~~)
[其、中、に、~~信~~、~~情~~、~~意~~、~~の~~、~~三~~、~~者~~、~~の~~、~~一~~、~~面~~、~~の~~、~~信~~、~~は~~、~~上~~、~~の~~、~~双~~、~~面~~、~~也~~]

② 者、上、に、~~信~~、~~情~~、~~意~~、~~の~~、~~三~~、~~者~~、~~の~~、~~一~~、~~面~~、~~の~~、~~信~~、~~は~~、~~上~~、~~の~~、~~双~~、~~面~~、~~也~~

③ 情、上、に、~~信~~、~~情~~、~~意~~、~~の~~、~~三~~、~~者~~、~~の~~、~~一~~、~~面~~、~~の~~、~~信~~、~~は~~、~~上~~、~~の~~、~~双~~、~~面~~、~~也~~

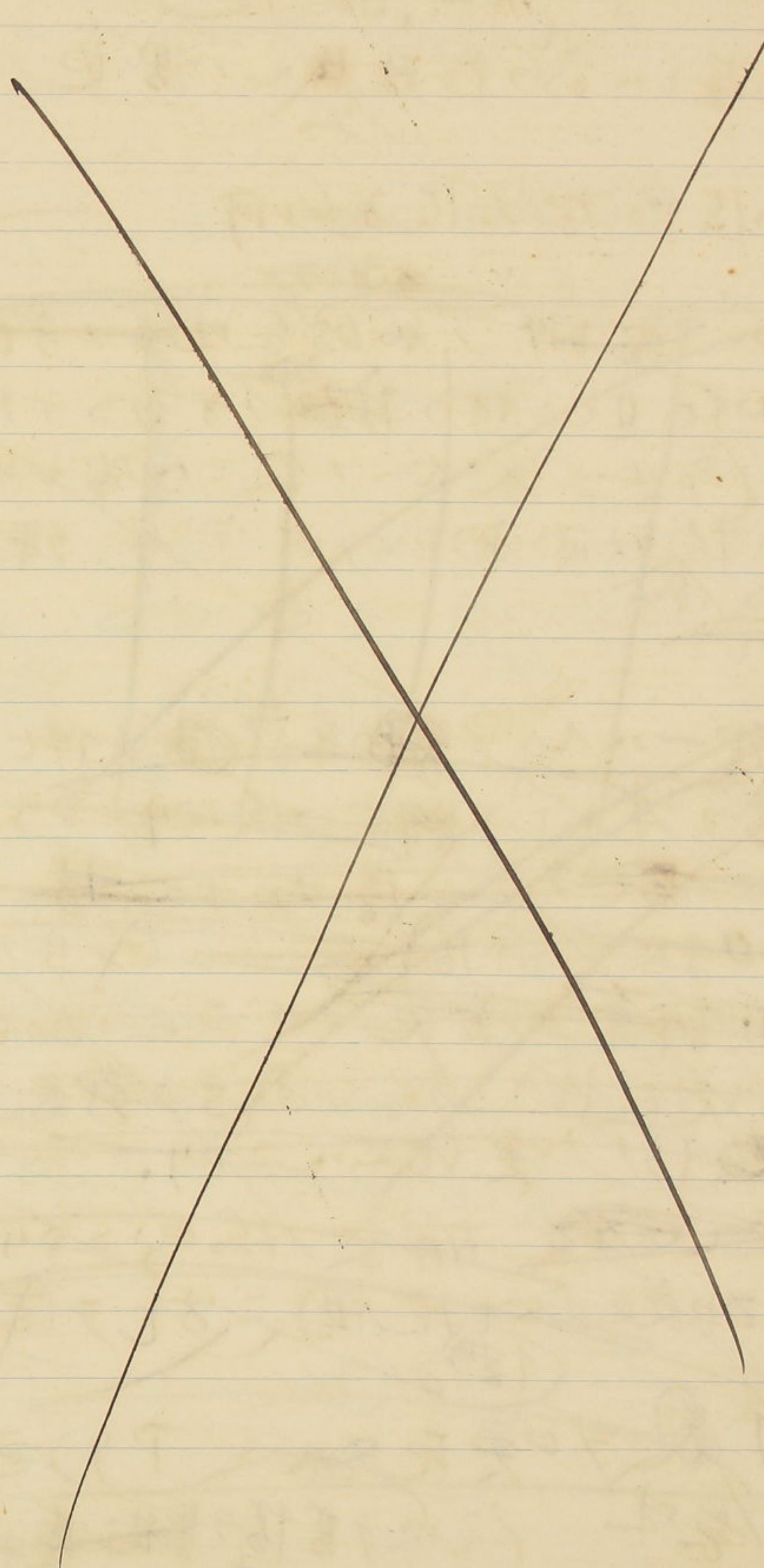
④ 要、上、に、~~信~~、~~情~~、~~意~~、~~の~~、~~三~~、~~者~~、~~の~~、~~一~~、~~面~~、~~の~~、~~信~~、~~は~~、~~上~~、~~の~~、~~双~~、~~面~~、~~也~~

又、夫人=シテ、其の貴き所に於て特別に
量り判断せらるゝ(基づく)

文章の

- ① 文章 = 語と句と章とナリ、(句不復句等)
- ② 句と句の語ヲ其の性質~~に~~依~~り~~て修~~飾~~
~~句の情=従ヒテ修飾上の修飾に依~~
~~る上ニ修飾の性質上ニ修飾スルコト~~
句と云フ、修飾
- ③ 句ヲ其の属スル章ノ情ニ従ヒテ修飾スル
コト云フ、
- ④ 句の修飾詞彙トヒ、其の修飾トイフ、
(即ち文章ノ全體に於テ修飾トイフ也)
(修飾ハ文章ノ一ノ修飾也)
- ⑤ 故=修辞学ハ自ラ詞彙、文辭ノ二大
部門ニ分ル(修飾ヲ加フルハ三門也)

~~第六段~~



初二比喻
其一、总復

① 比喻トハ 聯合比較の叫び ~~は~~ 情報、下二の意義以外、意味ヲ傳ヒ来列ニ二列ヲ情報ヲ切ニセラズニ元一ツヲ傳ヒ来細シク新意味ヲハ 實義ニ對シテ 呼稱トシ。

② 聯合、比較ニ類同、隣接、対照ノ三アリ。

~~③ 呼稱ノ實義ニ對シテ關係ハ比、三則ニ基テ、階級、比類、呼稱ニ對シテ、情報、得ル所ハ、類同、隣接、呼稱、情報、累積、隣接、情報、夢遊、対照、情報、ハ本ツケルニ本ツケルニ對シテ、呼稱ニ對シテ、階級、比類、呼稱トシ。~~

③ 呼稱ノ實義ニ對シテ關係ハ比、三則ニ本ツケル結果、即チ(比類ニ類同、隣接、呼稱、対照) 呼稱ノ三アリ

④ 直、結果ハ、類同、呼稱ニ列テ、情報ヲ累積、隣接、呼稱ニ列テ、情報ヲ

布行

~~① 呼稱ノ實義ニ對シテ關係ハ比、三則ニ基テ、階級、比類、呼稱ニ對シテ、情報、得ル所ハ、類同、隣接、呼稱、情報、累積、隣接、情報、夢遊、対照、情報、ハ本ツケルニ本ツケルニ對シテ、呼稱ニ對シテ、階級、比類、呼稱トシ。~~

~~② 又ハ三稱ノ呼稱ヲ法ニ對シテ、變化、如ク、呼稱、無、階級、呼稱、ニ列テ、呼稱、~~

~~③ 又ハ三稱ノ呼稱ヲ法ニ對シテ、變化、如ク、呼稱、無、階級、呼稱、ニ列テ、呼稱、~~

其二 階級 (Hyperbole)
縮略 (Litotes) 階級 (Climax)

④ 又 一切ノ呼稱ハ、其ノ呼稱ハ、階級、呼稱、ニ列テ、呼稱、無、階級、呼稱、ニ列テ、呼稱、

⑤ 呼稱ノ實義ニ對シテ關係ハ比、三則ニ本ツケル結果、即チ(比類ニ類同、隣接、呼稱、対照) 呼稱ノ三アリ
直、結果ハ、類同、呼稱ニ列テ、情報ヲ累積、隣接、呼稱ニ列テ、情報ヲ

~~比喩~~

(5) 外: 比喩 / 結果に^て利益
に^て適当 (fitness) / 快味と暢氣
(expansion) / 快味と^て以^て享^て樂^を
^に其^を心^に一層厚く^し
用^す

比喩

直喩^法、隱喩^法、諷喩、提喩、
換喩、引喩、冠喩

擬人^法、擬聲^法、誇張^法、對偶^法、漸
層^法、~~類叙~~法、緣叙^法、譬^法、
設^法、反語^法、~~感嘆~~法、歎呼
法、現象^法、同聲^法、反復^法、
小化^法、自拍子^法、疊^法、掛詞^法、
(諷刺^法、提^法、換^法、引^法、
冠^法) (直喩^法、引喩^法)

廿三年十月新海

信之

本海氏之ハ、是ハ直ニ詞藻也、
リノリ個々ニ研究ナシニ
亦ニテ餘地ナクハ、文辭論
ニハリ詩形論ニ入ルベシ

詞藻ノ原理ニ就テハ、
此ニテ要ニシテ、
之ヲ今用ハ、
之更ニ比喩トシテ、
直喩也、
凡テ喩中ノ言辭、
乱次ニ一々之ヲ取出シ研究ス

之ノ其也、
擬人法、擬聲法、
對偶法、漸層法、
聲句法、設景法、
同字法、
句拍子法、
擬物法、
不一、
直喩法、
隱喩法、

句拍子法、
聲句法、
擬物法、
不一、
直喩法、
隱喩法、

義類語也

比喩ハ其喩物ニ例テ比ニ爲シ
例ニカ入ルベシ即 Simile と
Metaphor = 比之詞 = (宋陳騅)

直喩或曰稱或曰若或曰如或曰
似始見可見孟子曰(猶緣木
而求魚也)書曰(若栢索之駟六
馬)曲論語曰(譬如北辰)莊子
曰(濼笑似秋)比類是也

隱喩其文鋭晦或則可尋礼記曰
(諸侯下不僭色)國語曰(設平公軍
車批政)又曰(雖鴨鷓諧焉歸之)
古史傳(是率然發渠也夫)公羊
傳曰(其語亦其雙欠而俱至也)
此類是也

例ハ比ニモ尾ヲ例ナシルハ比ナキ也
物語成足ラズ

直喩ハ喩物ニ其喩物ノ關係ノ
三件ヲ具全スル上例ノ如キカ成ル
(語句ノ上ニ)喩物ト實物ト異ケテ
關係ヲ異セルカナラズ然レバ
~~轉喩~~ 例ト曰石ト比バ得ル心
トナシ東武ト曰石ト行有義ト其
關係ノ轉語ヲ比例ト行語成

語ト其喩物ニ又比シハ内曰石ニ似
外ニハ内曰石實并喩物其關係
係ノ例トナシテハ其喩物
ノカ成ル之亦直喩ナシ其喩物
ハ半ノ喩ナシナリ即如例ニ似レバ
言表ニ出テザル也然レニ更ニ佳メバ
曰石轉語ニ比シ心動カスベシト
ヲ得ルニハ所謂對偶ノ辭也其味ニ
テ一方對偶性ナシ共ニ喩物トモ
ナラズ得ルニ比喩性ト念ルハ内曰石ト
比シ心ト喩物實例外ニ更ニ轉
ズベシ動カスベシト類似ナシハ常
ナラズナリ其喩物トハ直語ニ比
例係ノ之亦半ノ喩ナシレバ
若直喩ナルヲ失ハザル也更ニ佳
ニ内曰石ト比シ心トナリハ之
ハ唯~~比喩~~一語ト其關係
外國係例ノ喩物ナルナリナシ
之亦直喩ナルヲ失ハザル一
始メテ隱喩ト入ル也蓋レ隱
喩ハ直喩ノ進メトナリ
~~比喩~~ 即或ハ内曰石ト比
成ハ字ニ内曰石ニ轉語ニナリ

其意ハ然ラズ
比喩ナルナリ
ナラズレバ
心ノ内曰石

~~擬人法 (Anastrophe)~~

八 = 擬人法 (Personification)

擬法の有格之言七十二、(其の四格一三)

~~擬~~

擬人法 / 例外ハ上 / 規則即高格 /
 擬 = 言マレノ意 スル / 擬ヲ破リテ 擬者
 人カ之ヲ有格トシ思ヒテ得ザル場合
 = 殊更ニ之ヲ用ヒテ滑稽 趣味ヲ生ズル
 也也 根ハ訂正 擬人法トシテハ
 新ニトシテ 擬人法トシテハ 擬人法トシテハ
 隨テマテ中心 / 格 / 高低 = 四格 / 一
 圓トシテハ 擬人法トシテハ 擬人法トシテハ
 於テ 擬人法トシテハ 擬人法トシテハ
 其他 擬人法トシテハ 擬人法トシテハ
 之ヲ用ヒテハ 擬人法トシテハ
 又 擬人法トシテハ 擬人法トシテハ
 之カレル 詞彙トシテハ 擬人法トシテハ
 擬法有格ニ 擬人法トシテハ 擬人法トシテハ
 人カ之 = 擬人法トシテハ 擬人法トシテハ
 物トシテハ 擬人法トシテハ

不四取子也 擬人法
 不五高言也 擬人法
 不六 擬人法

八七 換稱法ト提稱法

metonymy + Synchdochy

八八 誇張法ト漸層法

Hyperbole + Climax

誇張法トハ情、言ハレシテ 五十一凡ハモ
 百ニ思ヒテ 誇張法トシテハ 誇張法トシテハ
 詞ハ 擬人法トシテハ 水トシテハ 擬人法トシテハ
 之也 之ヲ用ヒテハ 擬人法トシテハ
 十ニ思ヒテ 誇張法トシテハ 擬人法トシテハ
 也 擬人法トシテハ 擬人法トシテハ
 其子也 擬人法トシテハ

擬人法トハ 擬人法トシテハ 擬人法トシテハ
 之ヲ用ヒテハ 擬人法トシテハ 擬人法トシテハ
 語大夫皆曰不可勿聽、國人皆曰不可
 勿而後樂之 / 擬人法トシテハ Anticlimax
 ハ之ヲ用ヒテハ 擬人法トシテハ 擬人法トシテハ
 也

八九 警句ト Epigram

警句トハ 擬人法トシテハ 擬人法トシテハ
 現順トシテハ 擬人法トシテハ 擬人法トシテハ
 四ハトシテハ 擬人法トシテハ 擬人法トシテハ
 之カレ

九十 對偶法
 Antithesis

クニの子の也

カ+エの拍子也

句拍子とは語句の拍子よりて ~~文章を~~
~~句拍子~~ 或類の字句を連下するの
法也

カ+ハ字連也

字を分解して文章の節とす也 par-
て (二語) liament を partial men とし
伊物を人事に生ふは力か力也とい
ふの類也 ~~也~~ 或類

カ+ハ拍子也

同音異字/語を用いて文の上下を連
結する一種の拍子也 或は文の拍
子といふべく西語には其例を見ず
只ハ少節なり 他は其例はあり pome
と ~~Prone~~ Pronomasia といふは
此はハ其例なり也 或は其の拍子ハ西語
と pome と異なりて其意味東西同也 或は
るは語句の拍子也 或は其の拍子
~~也~~ 少量の語と少量の已を含む
るの便値あり也

カ+ハ他也、Diminutive

~~也~~ 或類の語とカ、又は反響より

て其語句の拍子も小なり也 或は

~~Baglitta~~ 小疾、蝶の拍子
也 其は、或は ett 等の字に附
する Baglitta の也也

以て其の拍子也の大概と見せ
るは、或は其の拍子也の定例の
拍子とすは、拍子也を以て
て他は暫く思ふべし 他は暫く
あらば清する也とあふん。

窮思、能思

果思、執思、思思、思思、思思

思、思思、思思、思思、思思

思、思思、思思、思思、思思

思思、思思、思思、思思

思思、思思、思思、思思

思思、思思、思思、思思

思思、思思、思思、思思

